

レジメン名	PTX+BEV
対象疾患	進行再発乳癌
1クールの日数	28日
目標コース数	可能な限り継続

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	タキソール	PTX	80	mg/m <sup>2</sup>	div	1時間	d1,8,15
2	アバスチン	BEV	10	mg/kg	div	下記参照	d1,15
3							
4							
5							
6							
補足	アバスチンの投与時間は初回投与時90分で行う。忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間、3回目以降30分で投与可能。						

催吐リスク	軽度
前投薬	グラニセトロン注3mg、デカドロン注6.6mg、ファモチジン注20mg、ポララミン注5mg
減量規定	タキソール：各クール開始時、白血球数3,000/mm <sup>3</sup> 未満または好中球数1,500/mm <sup>3</sup> 未満であれば、骨髄機能が回復するまで投与を延期（同一クール内では白血球数2,000/mm <sup>3</sup> 未満または好中球数1,000/mm <sup>3</sup> 未満）。 白血球数1,000/mm <sup>3</sup> 未満、重篤な末梢神経障害が発現した場合は次回より減量。
主な副作用	悪心・嘔吐、食欲不振、骨髄抑制、倦怠感、下痢、末梢神経障害、脱毛、関節痛・筋肉痛、浮腫、高血圧、出血、尿蛋白陽性、消化管穿孔、血栓塞栓症、創傷治癒遅延
参考文献	適正使用ガイド（タキソール、アバスチン） 制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会）
その他	タキソール：インラインフィルター使用

投与スケジュール

Day ( 1,15 )			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL  1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 グラニセトロン注バッグ3mg ファモチジン注20mg ポララミン注5mg デカドロン注6.6mg  1日1回	1本 1本 1本 1本	15分
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液100mL アバスチン注  1日1回	1本 10mg/kg	初回90分 2回目60分 3回目以降30分
4	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL タキソール注  1日1回  インラインフィルター使用	1本 80mg/m <sup>2</sup>	1時間

Day ( 8 )			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL  1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 グラニセトロン注バッグ3mg ファモチジン注20mg ポララミン注5mg デカドロン注6.6mg  1日1回	1本 1本 1本 1本	15分
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL タキソール注  1日1回  投与前30分空ける インラインフィルター使用	1本 80mg/m <sup>2</sup>	1時間